

## 和楽器と洋楽器のデュオ その心音（こころね）に浸りいる

瞼を閉じれば津軽三味線とジャズピアノの音色が、からだに沁みわたる。バチの弾きは心を震わせ、鍵盤音色は精神年齢を一気に若きしあの日へ。「音楽に国境はない」という言葉は聞くが、和と洋の垣根を超えた演奏に爽やかな新鮮味を魅せられました。何より聴衆が喜んだのは、演奏者が“イケメン”であったこと。楽器の構造や歴史など、演奏にも勝る巧みな話術。女性陣は違う意味で心を奪われ、至福のひとときを過ごすことができました。今日の演奏のように、素直に、純粹に、皆が幸せになれる世の中にならう。馬場さん、牧さん、素敵なデュオをありがとうございました。

